

## 私の留学体験記

広島県立安古市高等学校 2年 村上 瑞己 (むらかみ みずき)

留学期間 平成30年7月26日～平成30年8月11日 (17日間)

留学先 セントジョーンズグラマースクール (アデレード, オーストラリア)

私が実際にアデレードの家庭で約2週間生活して実感したことは、学校で文章の翻訳や理解をする事と、日常生活の中で相手と円滑なコミュニケーションをとる事は全くの別物であるという事です

文字に起こされていない音声のみの英語を瞬時に理解して、その内容に応じた返答をするという事に全く慣れていなくて、必死に耳を傾けてもただただ声が右から左に流れていくだけでした。さらに、日常会話の中で電子辞書を悠長に使うような時間はありませんでした。分からないけれど調べることもできない状況の中で私が取った行動は、様々な表情でリアクションを取り、相手が直感的に自分の感情をくみ取ることができるようにしたり、常に笑顔で相手と接することでした。それによって伝えらえた情報量は計り知れません。たとえ言語が違い、言語による意思疎通が難しくても、自分の思いを伝える方法はたくさんあるという事を知りました。

そしてもう一つ私がオーストラリアで生活するのに困ったことは、「マナーが分からない」という事でした。たしかに私がオーストラリアの人ではないの是一目見て分かり、多少マナーに反しても大目に見てくれることは想像できます。しかし、「郷に入れば郷に従え」とあるように、私たちはオーストラリアのマナーの下で生活するのが基本原則だと私は思いました。だから、特に食事の時などはオーストラリアの人の行動を観察して、それを真似るように行動しました。

これらの二つに苦戦しながらも、私はホストファミリーと共に様々な経験をしました。ホームステイ初日に早速行ったナショナルパークでは、オーストラリアを代表する動物であるカンガルーやコアラなどを観察しました。その場所で過去に大きな火災があったこともホストファミリーから教えてもらいました。また、ほかのホストファミリーと二家族合同で二泊三日過ごしました。その中で海に泳ぎに行ったり、満天の星空を眺めたり、大人数でカードゲームをしたりと、本当に大切な体験をしました。

今回のオーストラリアで体験した様々な感動や驚き、そして困難や失敗は私にとって全てがかけがえの無いもので、私の糧になると思います。この経験を無駄にしないようにしたいと改めて強く思います。そして今回不安で一杯だった私を温かく迎え入れてくれ、沢山のことを教えてくれたホストファミリーと、留学する決心を後押ししてくれた母に改めて感謝したいと思います。